



2022年11月28日
N S ユナイテッド海運株式会社

アンモニア燃料船の基本設計承認を取得

当社はこのたび、日本シップヤード株式会社、株式会社三井 E&S マシナリー、伊藤忠商事株式会社、川崎汽船株式会社と共同で、一般財団法人 日本海事協会（ClassNK）より、アンモニア燃料船（載貨重量 20 万トン級大型ばら積み船、以下「本船」）の基本設計承認（Approval in Principle、AiP）を取得しました。

本船は、国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の「グリーンイノベーション基金事業／次世代船舶の開発／アンモニア燃料船の開発」に共同採択された、「アンモニア燃料船開発と社会実装の一体型プロジェクト」（2021年10月26日付プレスリリース）の一環として、日本シップヤード株式会社にて設計されました。

現時点では、アンモニアを船用燃料として利用するための国際規則が存在していないため、本船の竣工に向け、代替設計承認（注）の取得を見据えております。今般、アンモニアを船用燃料として使用する際の安全性についてリスクアセスメント（Hazard Identification Study、HAZID）を実施し、本船の基本設計は、「既存の燃料で航行する船舶と同等の安全性を担保することが可能」と評価されました。

本 AiP 取得は、海事関係者の新たな挑戦であるアンモニア燃料船を社会実装するための重要なマイルストーンであるとともに、当社の環境目標「2050年までに GHG 排出ネットゼロ達成」に対しても重要なステップとなります。今後、AiP を取得した基本設計をベースに本船開発を進め、2026年をめどに竣工・社会実装開始を目指します。今後も当社は、中期経営計画"FORWARD 2030"で掲げた環境保全への取り組みの強化により、企業価値の向上を図るとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

（注）代替設計承認とは、国際規則が定まっていない船舶の設計を行う場合に、既存の国際規則に則り建造された船舶と同等の安全性を担保していることを立証し、主管庁の承認を得ることを指します。本船のように ClassNK のガイドラインに則り設計された船舶は、SOLAS 条約（海上人命安全条約、International Convention for the Safety of Life at Sea）に則り、主管庁から承認を得た上で、承認された代替設計に基づいて建造される場合、アンモニアを船用燃料として利用できることになります。

本件に関する問い合わせ先：
環境保全推進グループリーダー 藤田 透
TEL 03-6895-6610

以上

AiP 授与式にて

